

お客様各位

「監視機能付き無線ロガー」

MD8000シリーズ送信器・電池タイプ（アルカリ電池、専用電池）

電池交換時の取扱いについてのお願い

株式会社チノー
山形事業所 CS部

常日頃、当社製品をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

早速ですが、現在MD8000シリーズ送信器の電池タイプ（アルカリ電池、専用電池）の電池交換時の取扱いにつきまして、以下の運用にてご対応いただきますようお願い申し上げます。

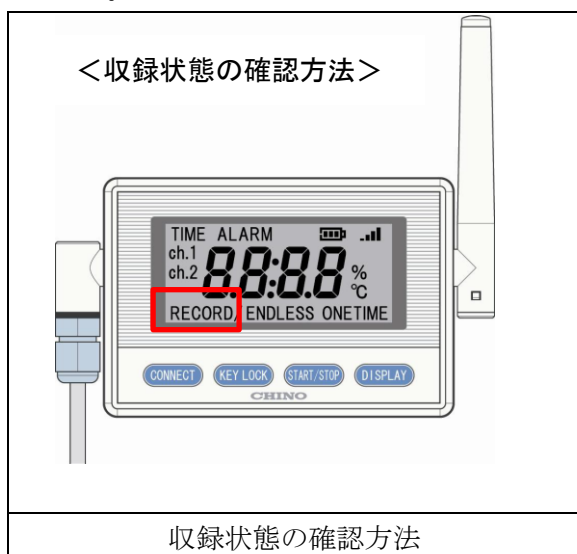
対象機器：MD80□□-□□□/MD82□□-□□□

1. 電池交換時のバックアップ機能について

電池交換の際、本来であれば、バックアップ用コンデンサによりデータの収録が継続する仕様になっておりますが、バックアップ用コンデンサは寿命を有しており、環境にもよりますが約3年前後を想定しております。従いまして長期間のご使用にあたっては、電池を取り外した際にバックアップ機能が働かない場合がございます。

2. 上記挙動による現象

バックアップ機能が働かない状態では、収録状態がリセットされるため、再度収録スタートの操作が必要になります。お気づきにならない場合、収録されていない状態となり欠測に至ります。ただし、それまでのデータは不揮発性メモリに記録しているため、再収録開始までは消える事はありません。



左図送信器の赤枠内の「RECORD」表示が「点滅」もしくは「消灯」の場合は、収録されていない状態となります。

<RECORD表示状態による機器状態>

点灯中：収録中

点滅中：収録停止中（収録データあり）

消灯中：収録停止中（初期状態、中継器として使用）

3. 電池交換の際のお願い事項

データが欠測にならないためにも、お手数ですが、電池交換の際は別紙の資料を確認頂き、対応いただきますようお願いいたします。

文書番号：Y2051-70241

名称：「MD8000 シリーズ 送信器電池交換について」

「MD8000 シリーズ 送信器収録再開操作について」

次ページをご参照下さい。

<お問い合わせ先>

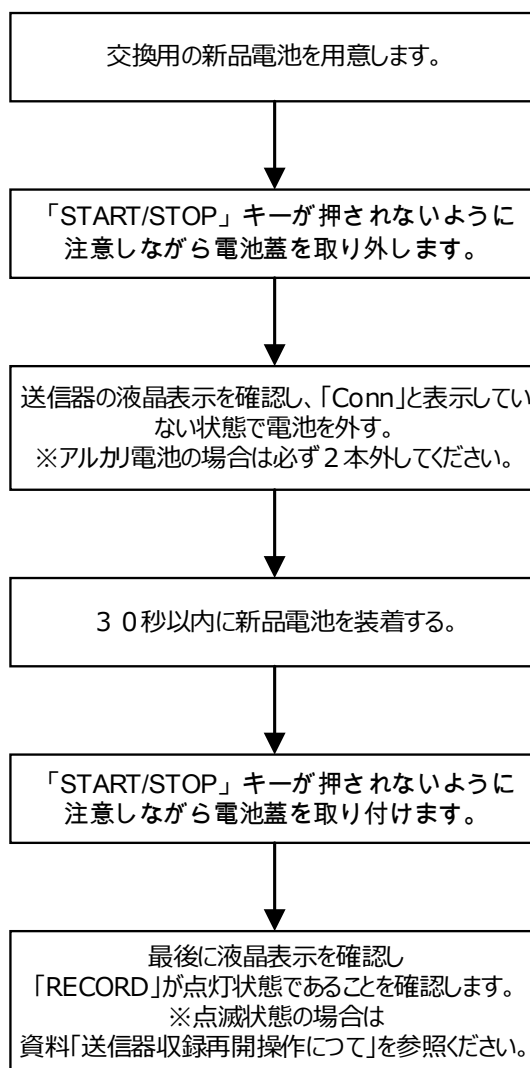
- ・株式会社チノー 山形事業所 CS 部
電話番号：023-607-2104
- ・株式会社チノー コールセンター（お客様製品相談室）
フリーダイヤル：0120-41-2070
e-mail：<http://www.chino.co.jp/inquiry/index.html>
「お問い合わせフォーム」をご利用下さい。

MD8000 シリーズ 送信器電池交換について

送信器の電池交換作業を行う上での手順・注意点を記載します。

手順

USB 版、イーサネット版共通の手順となります。



MD8000 シリーズ 送信器収録再開操作について

電源断などの何らかの理由により送信器が収録 STOP してしまった場合の収録再開操作についての説明。

操作手順

USB 版、イーサネット版共通の手順となります。

